

ジェネリック医薬品の使用状況について

(令和2年4月診療分)

令和2年10月作成



全国健康保険協会 奈良支部
協会けんぽ



背景・目的

- 協会けんぽ加入者ベースの令和2年4月診療分の集計で、奈良県におけるジェネリック医薬品使用割合は、全国平均79.1%に対し、73.1%（全国46位）と依然としてかなり低迷している状況にある。（前回集計時：令和元年10月診療分 全国平均77.6% 奈良71.6%（全国46位））
- 県全体としてジェネリック医薬品の使用促進が遅れている状況であり、全体的な底上げが必要な状況ではあるが、ジェネリック医薬品に関する基礎的な分析を行うことにより、特に弱点である部分を把握することを目的とする。

データの注意点

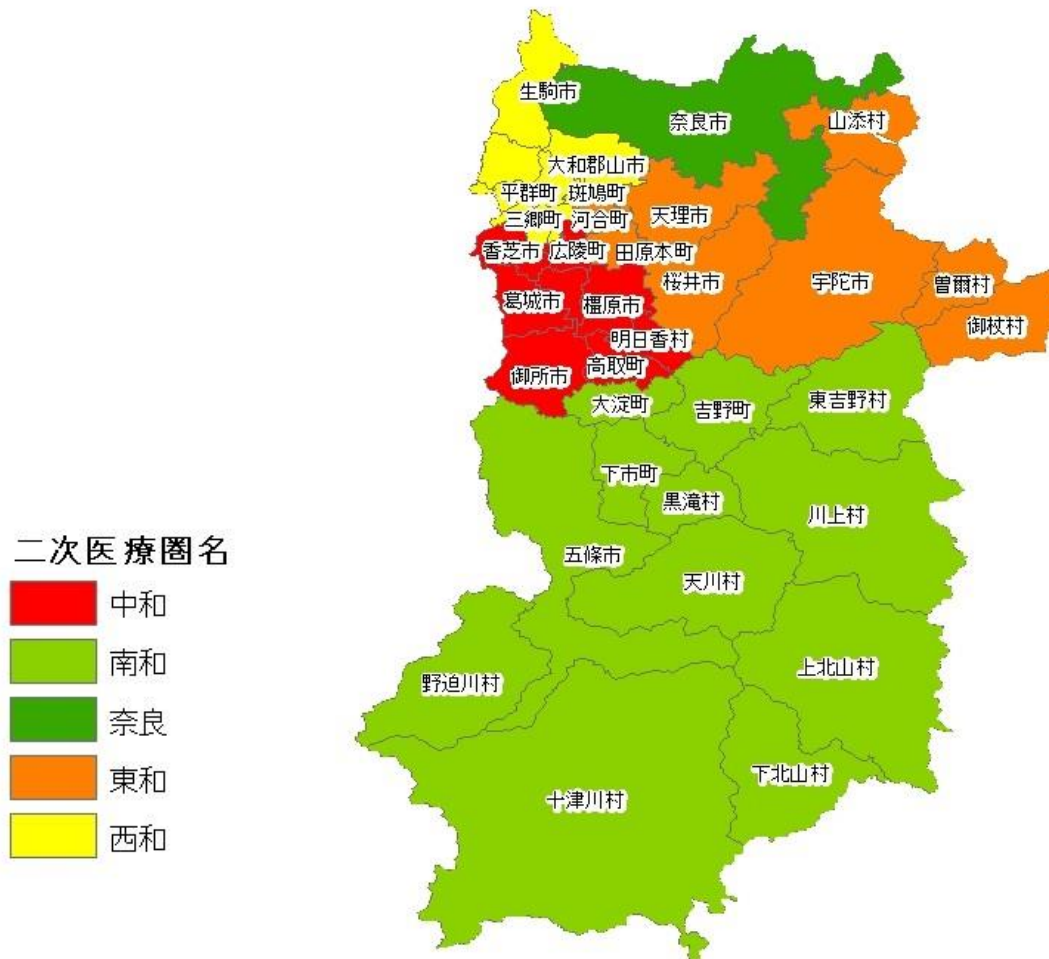
- 協会けんぽ加入者における令和2年4月診療分の医科、DPC、調剤レセプトを対象とする。DPCについてはコーディングデータを対象とする。
- 地域別の集計は、医療機関および薬局の所在地に基づく。
- 数量は、薬価基準告示上の規格単位毎に数えたもの。ただし、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬、漢方を除く。
- ジェネリック医薬品使用割合は、数量ベース新指標にて算出。 $\text{後発品数量} \div (\text{後発のある先発品数量} + \text{後発品数量})$
- 医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報（令和2年6月19日適用）」による。

用語の説明

- 本資料では「ジェネリック医薬品」を「Ge」と表記する。
- 影響度は偏差値50からの差分が、県全体のジェネリック医薬品使用割合に与える影響を示す。例えば、影響度が-1.0ならば、当該指標が全国平均になった場合（二次医療圏別割合の場合は県平均になった場合）に、県全体のジェネリック割合が1.0ポイント引き上がることを示す。
- 二次医療圏は、一体の区域として病院等における入院に係る医療を提供することが相当である単位として設定される。その際は、地理的条件等の自然的条件、日常生活の需要の充足状況、交通事情等の社会的条件が考慮され設定される。（奈良県における二次医療圏の区分けは、3Pを参照。）

二次医療圏について

- 二次医療圏とは、地理・交通・人口・病院の配置などを考慮して設定された、病院などの医療提供体制を整備する際の基本的な地域単位のこと。
- 現在、奈良県には、「奈良」「西和」「東和」「中和」「南和」の5つの「二次医療圏」がある。



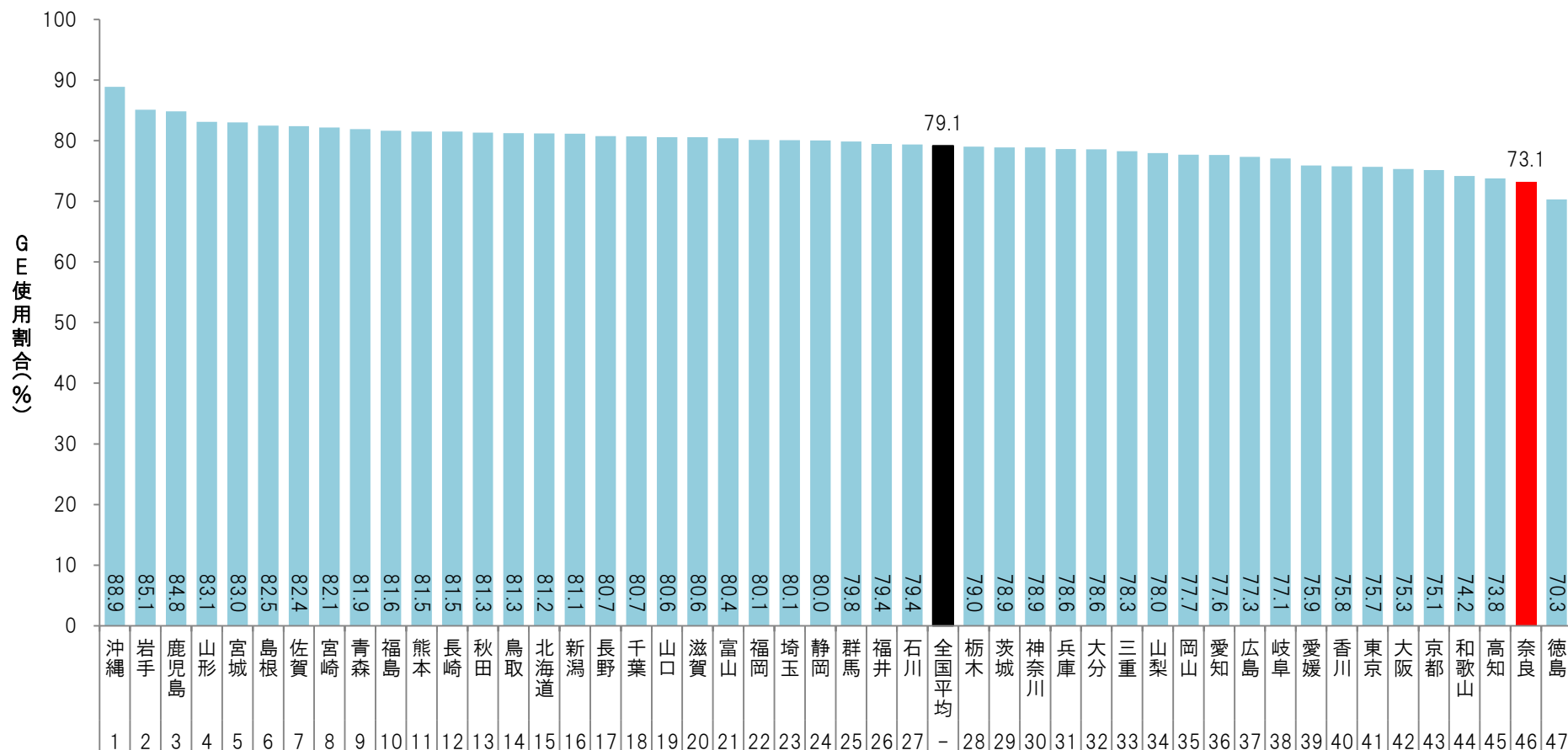
奈良県における傾向①

- 全国平均79.1%に対し、奈良県の使用割合は**73.1%**で**全国46位**。(6P参照)
(参考：(令和元年10月分) 全国平均77.6% 奈良県71.6%(全国46位))
- 二次医療圏別では、**東和地区**の影響度が -0.77 (令和元年10月分は影響度 -0.64) と最も低下方向に働いているとともに悪化した。**中和地区**は、影響度が -0.57 (令和元年10月分は影響度 -0.78) と令和元年10月からやや改善している。(7P参照)
- Ge使用割合について、「院内処方(病院や診療所内)」と「院外処方(調剤薬局)」に分けて集計すると、依然として**院内処方**でのGe使用割合が低迷しており、**影響度は -3.37** (令和元年10月分は影響度 -3.72) となっている。(8P参照)
- 院内処方におけるGe使用割合が低いにも関わらず、**院内処方率が33.1%と全国で3番目に高い** (令和元年10月分は34.7% (全国3位)) ことも、使用割合が低いことの要因の1つと考えられる。
(24P参照)
- **院外処方**のGe使用割合は、全国平均を下回っているものの院内処方に比べると使用割合は高く、調剤薬局で処方される場合はGeの使用割合が比較的高い。(12P参照)

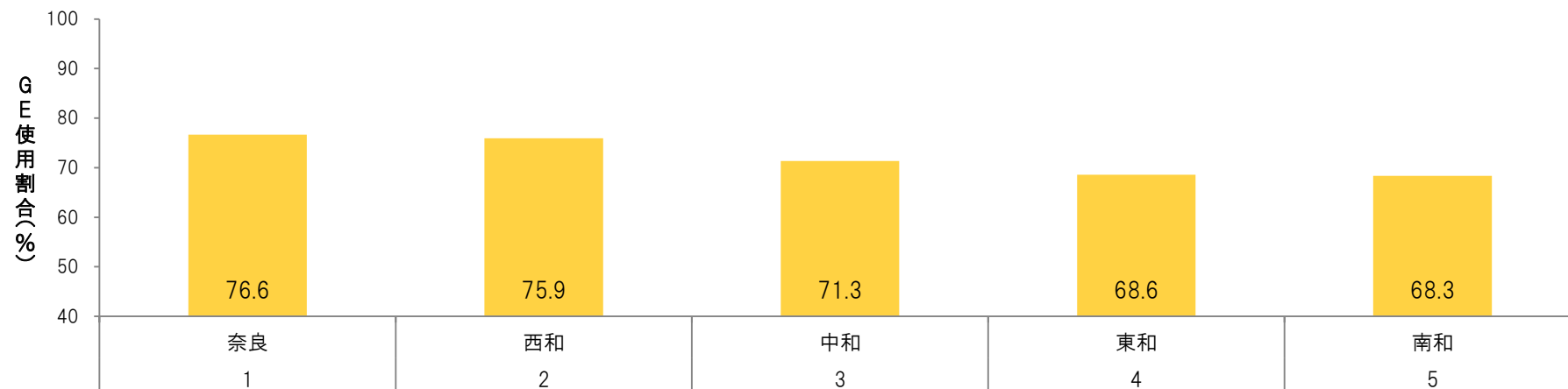
奈良県における傾向②

- 薬効別では**循環器官用薬**の影響度が大きく、影響度－2.26（令和元年10月分は影響度－2.10）となっている。（16P参照）
- 年代別では、協会全体では若年層の使用割合が低いことが課題であるが、奈良県では**高齢者の使用割合が低く、高齢になるほど全国平均との乖離幅が大きい**。60～74歳の影響度は－2.69（令和元年10月分は影響度－2.75）となっている。（17P参照）
- **公費対象者**のGe使用割合は、全国的にもやや低い傾向だが、全国平均69.3%に対し奈良は61.4%で**全国46位**。（令和元年10月分は59.0%（全国46位））（28P参照）

支部別GE使用割合／全体（令和2年4月診療分）



奈良支部／二次医療圏別GE使用割合／全体



影響度

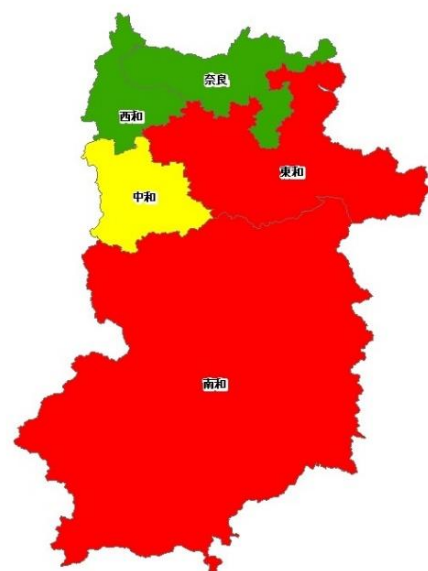
+0.90

+0.62

-0.57

-0.77

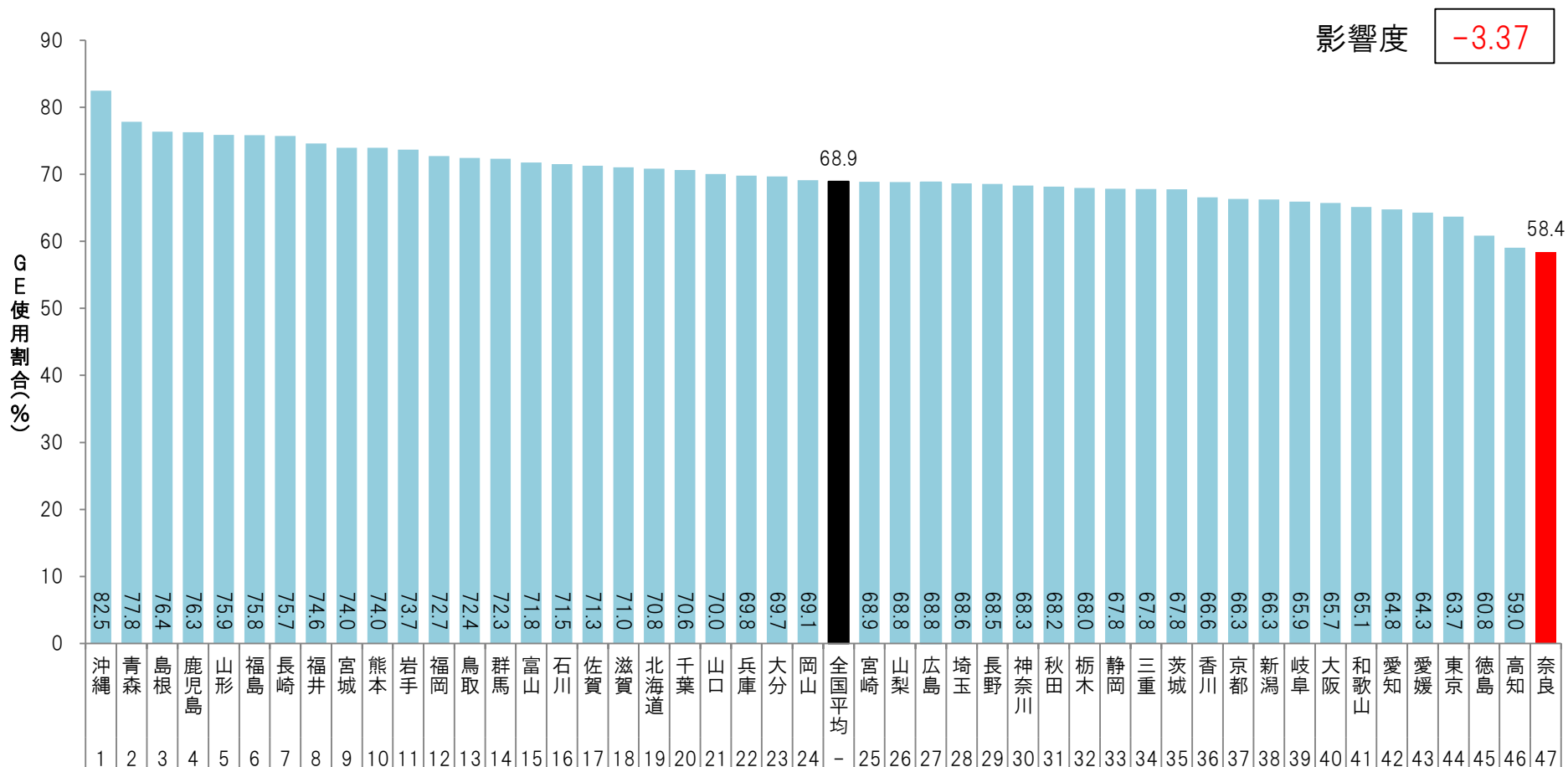
-0.19



《塗り分け基準》

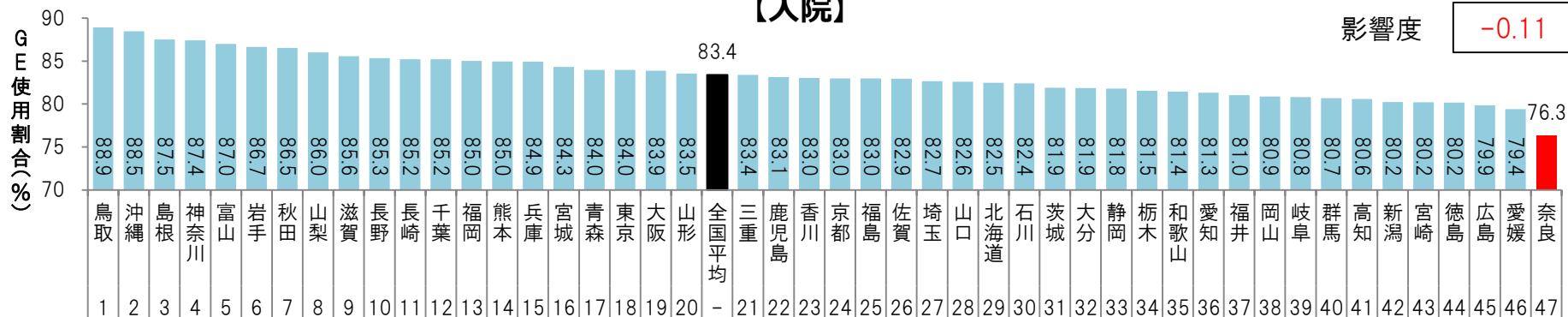
以上	未満	色
75		緑
70	75	黄
	70	赤

支部別GE使用割合／院内

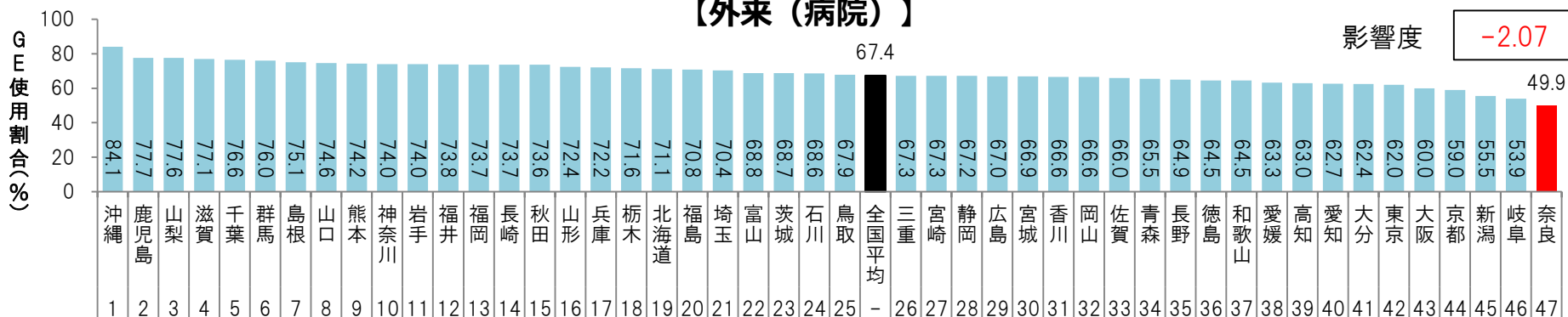


支部別GE使用割合／院内処方

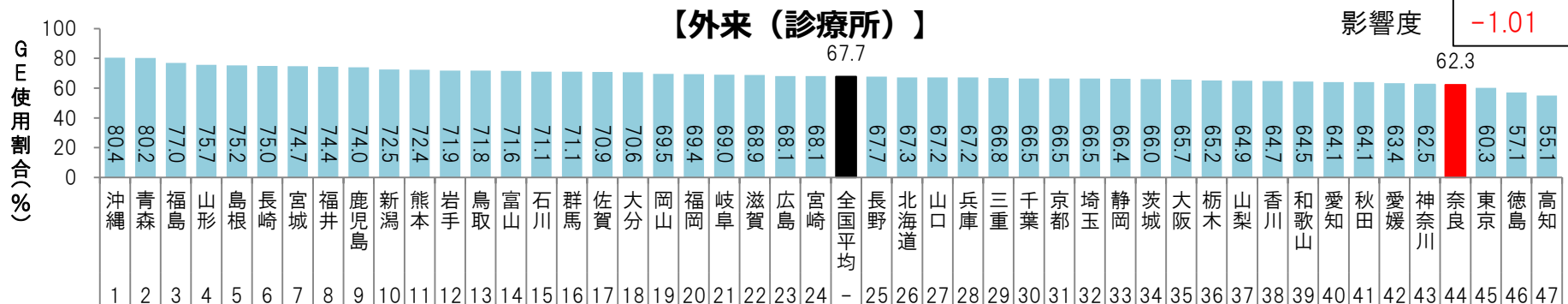
【入院】



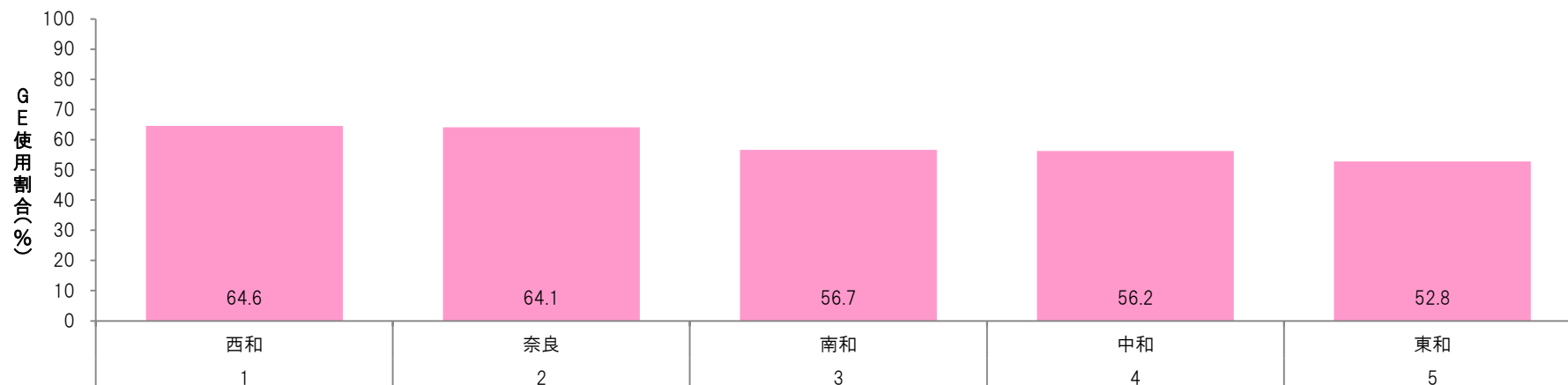
【外来（病院）】



【外来（診療所）】



奈良支部／二次医療圏別GE使用割合／院内



影響度

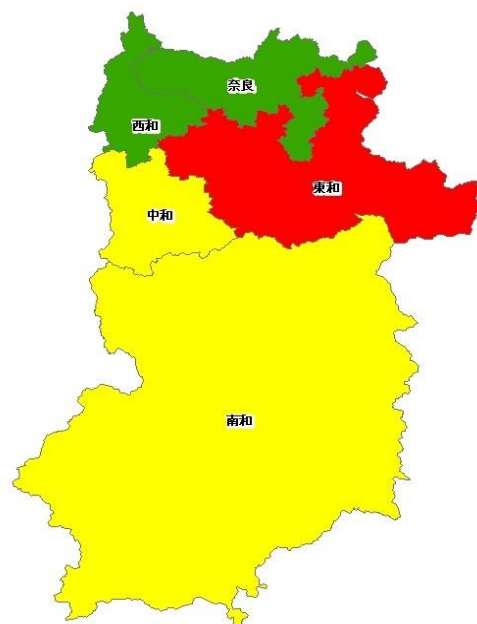
+0.27

+0.41

-0.03

-0.26

-0.40

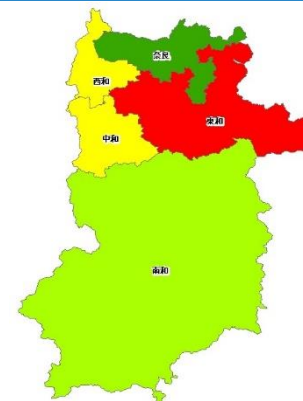
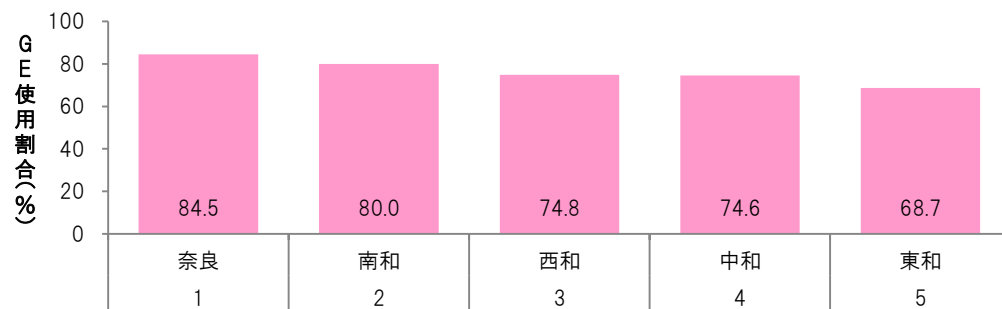


《塗り分け基準》

以上	未満	色
60		緑
55	60	黄
	55	赤

奈良支部／二次医療圏別GE使用割合／院内処方

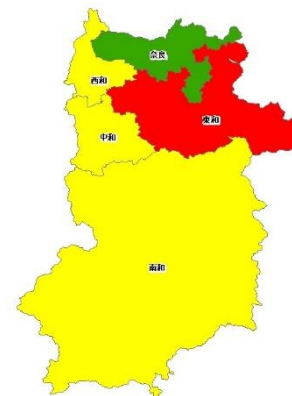
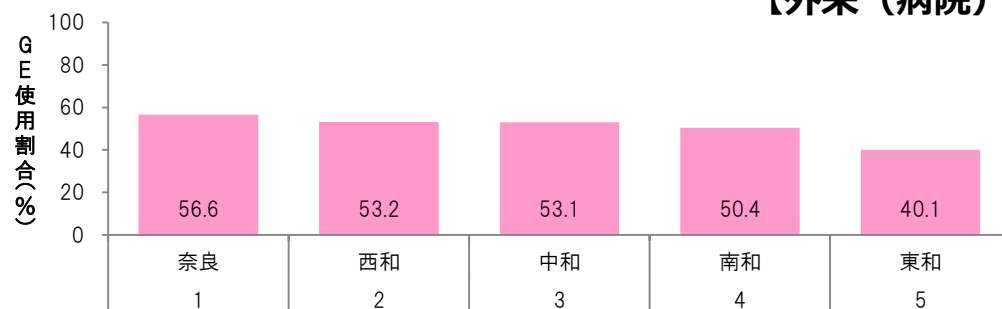
【入院】



《塗り分け基準》

以上	未満	色
80.1		緑
75	80.1	黄緑
70	75	黄
	70	赤

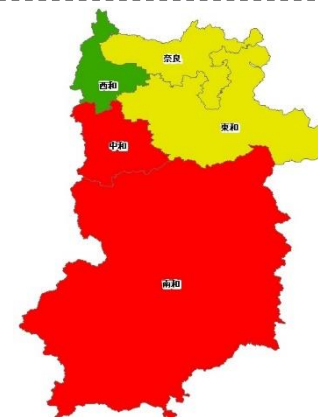
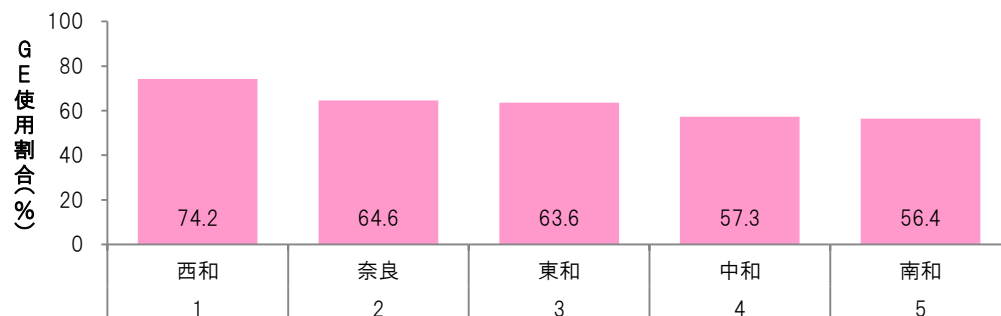
【外来（病院）】



《塗り分け基準》

以上	未満	色
55		緑
50	55	黄
	50	赤

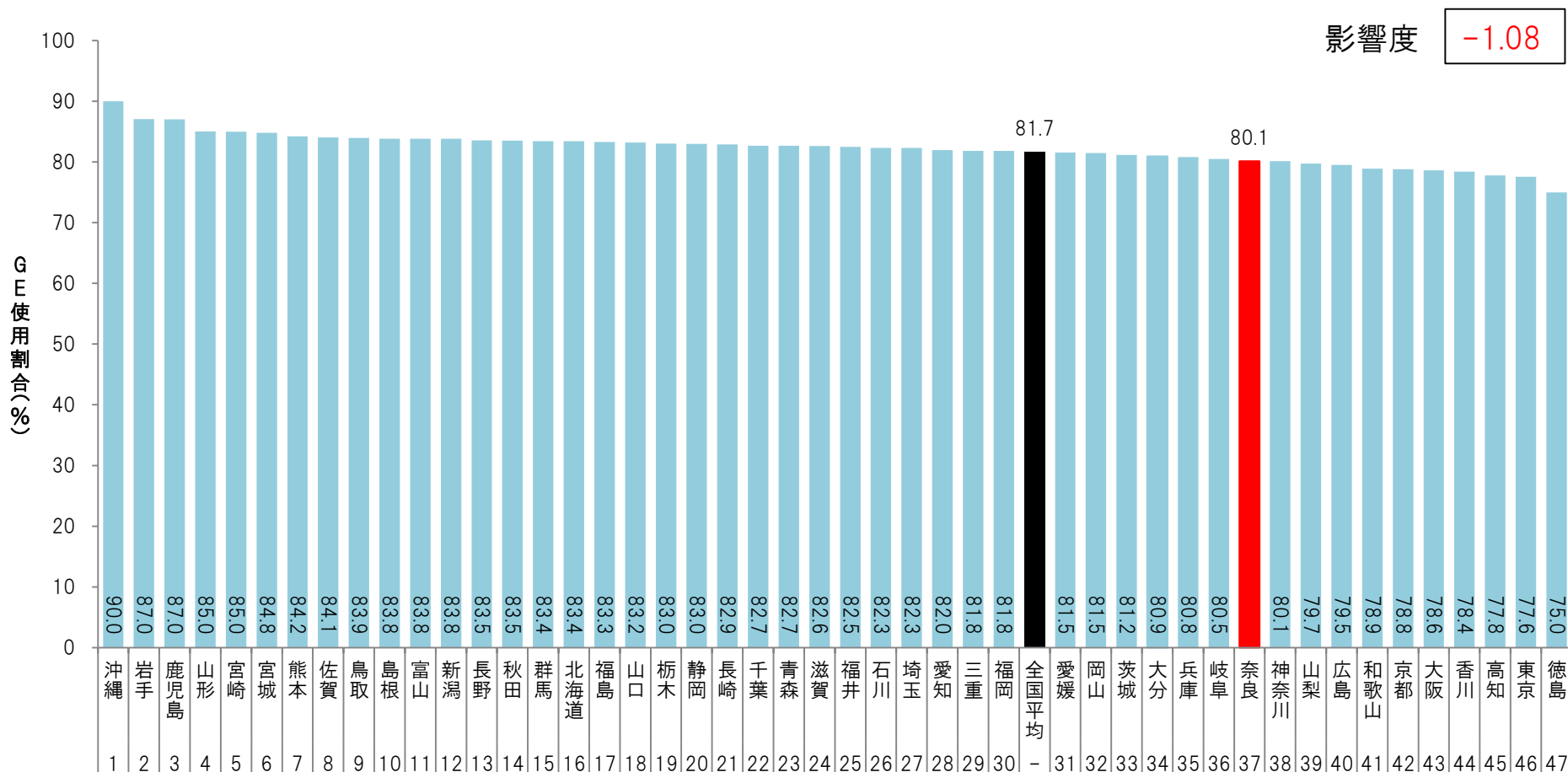
【外来（診療所）】



《塗り分け基準》

以上	未満	色
65		緑
60	65	黄
	60	赤

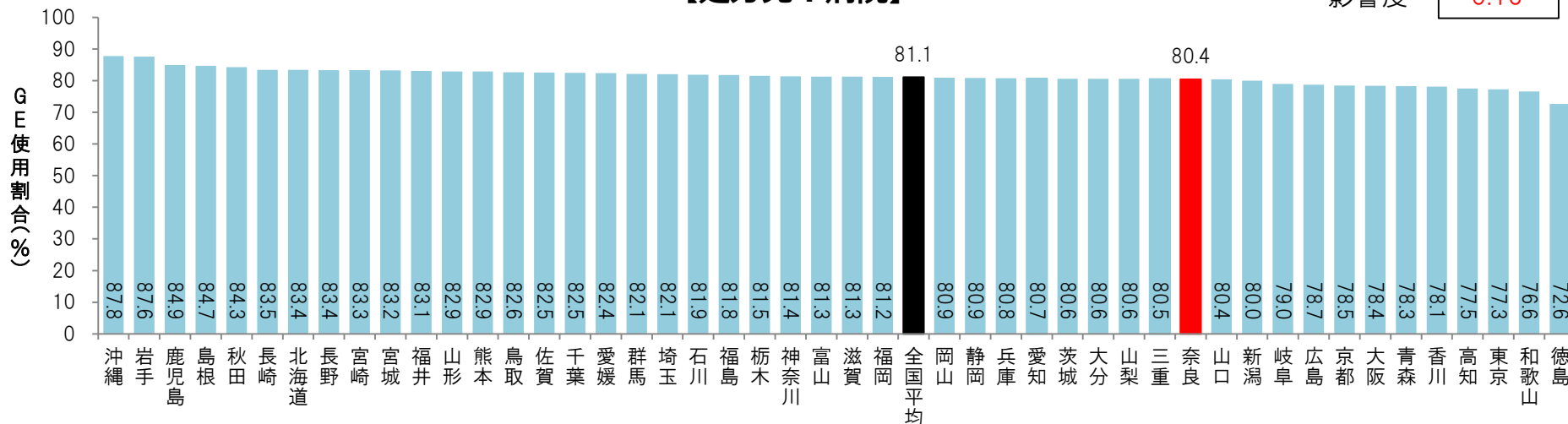
支部別GE使用割合／院外処方



支部別GE使用割合／院外処方

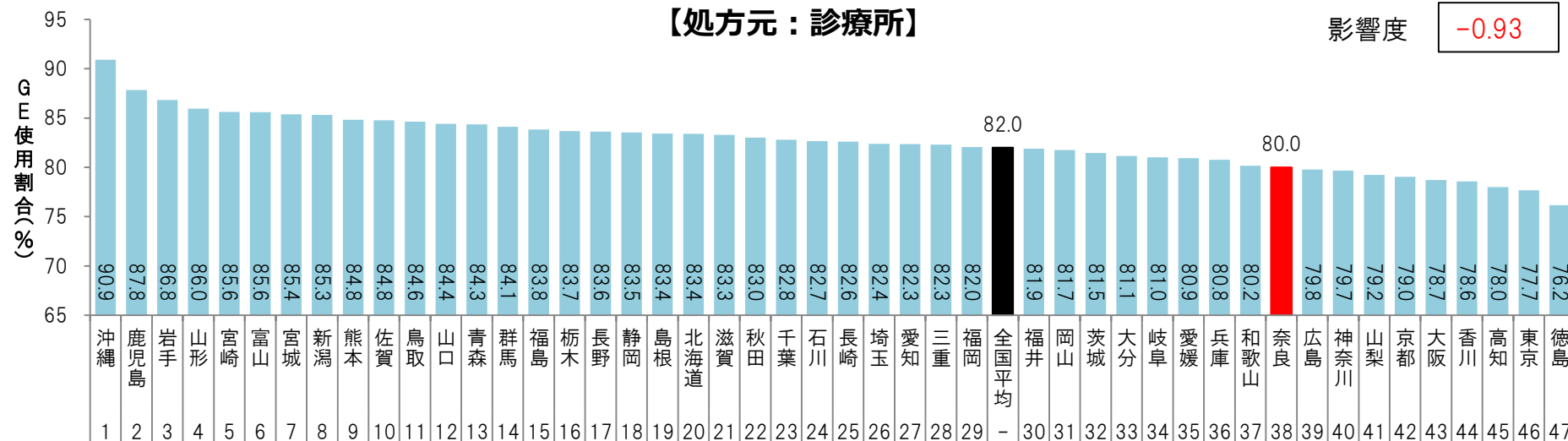
【処方元：病院】

影響度 -0.15

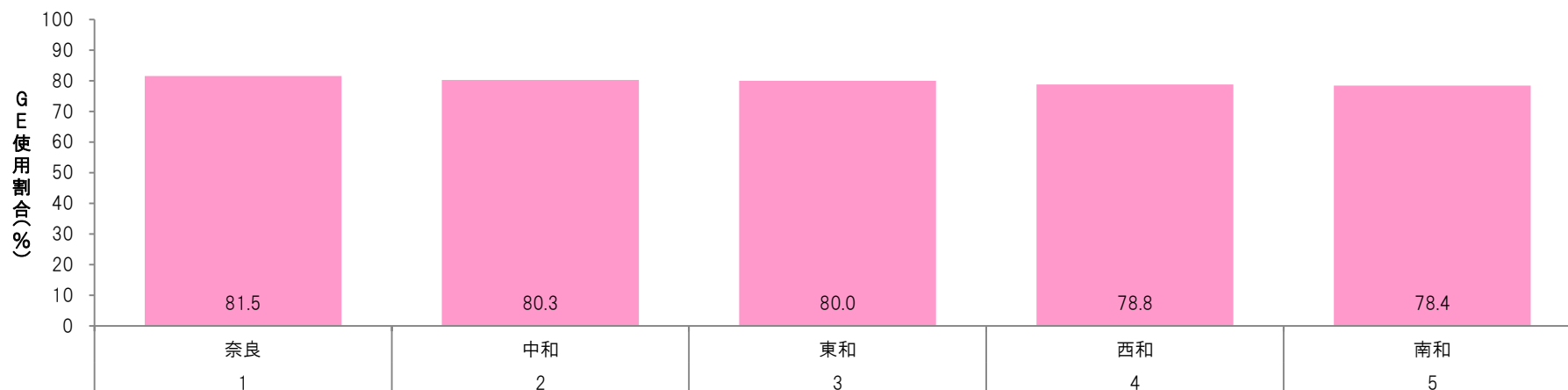


【処方元：診療所】

影響度 -0.93



奈良支部／二次医療圏別GE使用割合／院外処方



影響度

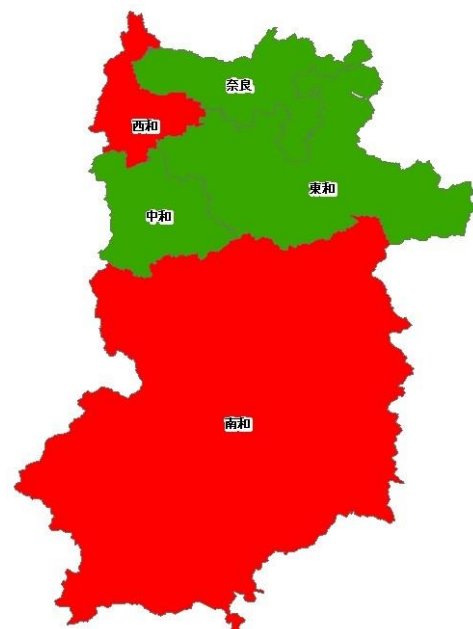
+0.26

+0.03

-0.01

-0.24

-0.04

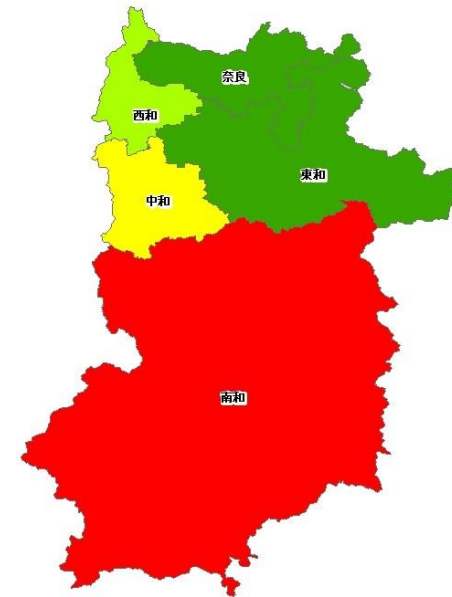
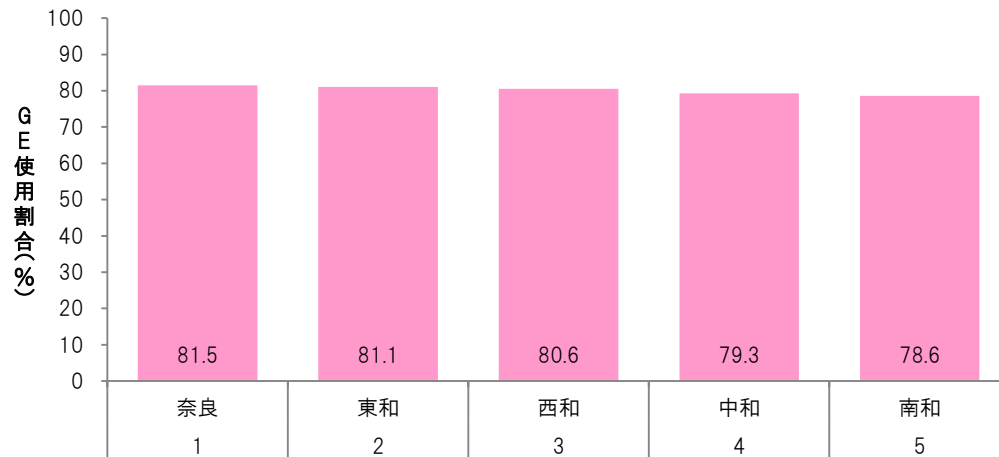


《塗り分け基準》

以上	未満	色
80		緑
	80	赤

奈良支部／二次医療圏別GE使用割合／院外処方

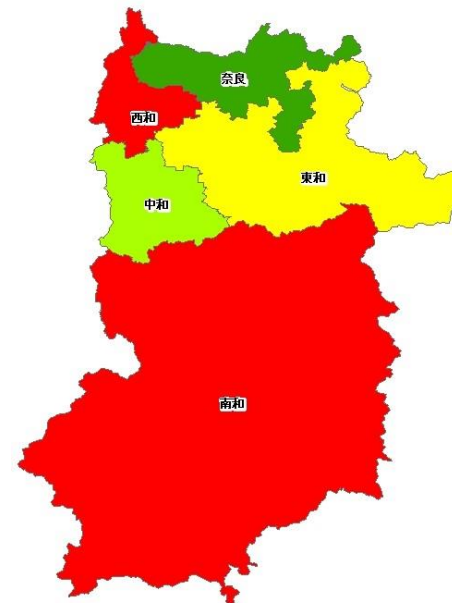
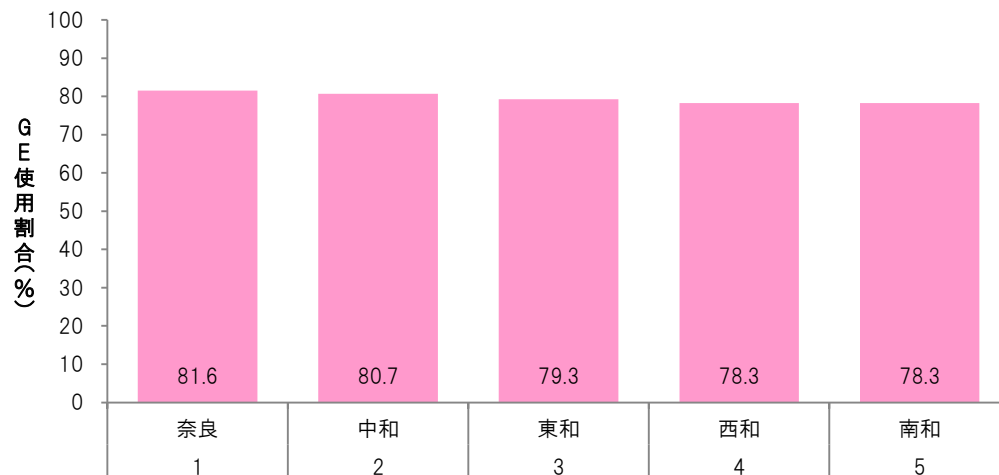
【処方元：病院】



《塗り分け基準》

以上	未満	色
81		■
80	81	■
79	80	■
	79	■

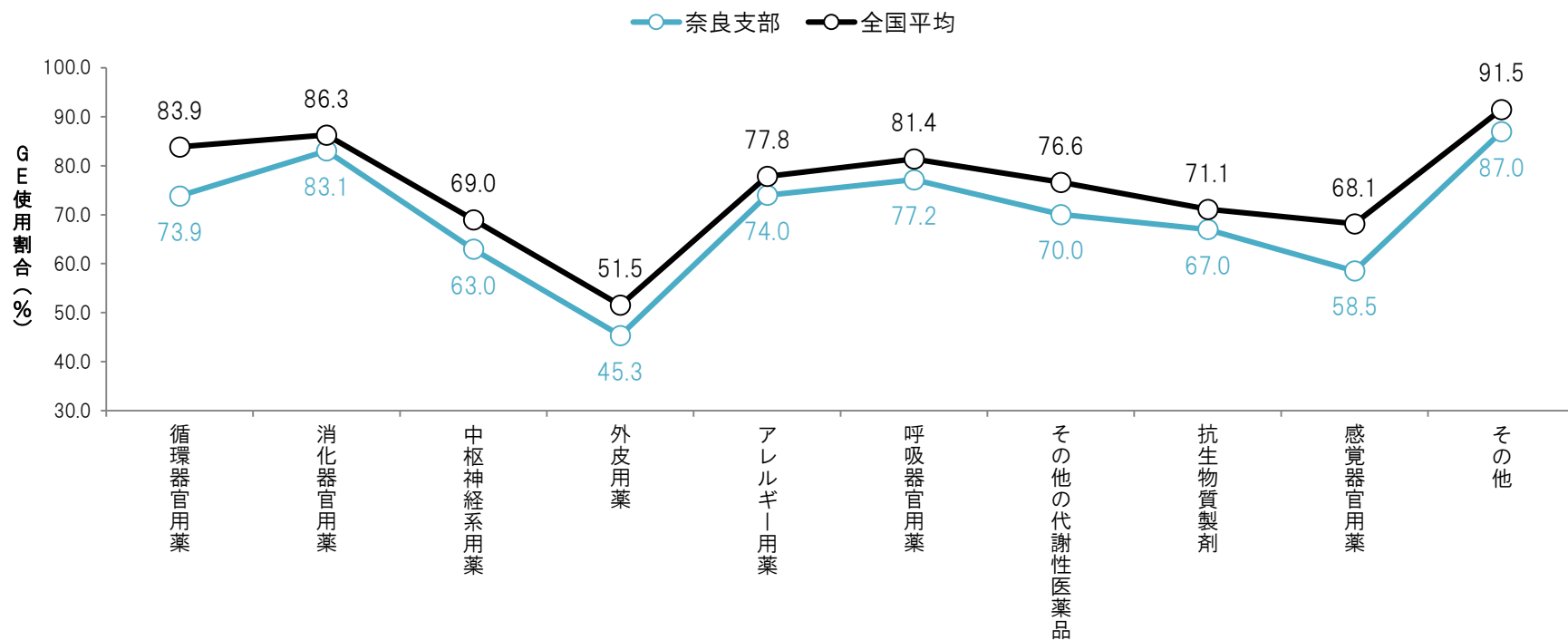
【処方元：診療所】



《塗り分け基準》

以上	未満	色
81		■
80	81	■
79	80	■
	79	■

奈良支部／薬効別GE使用割合



影響度

-2.26

-0.54

-0.86

-0.52

-0.35

-0.21

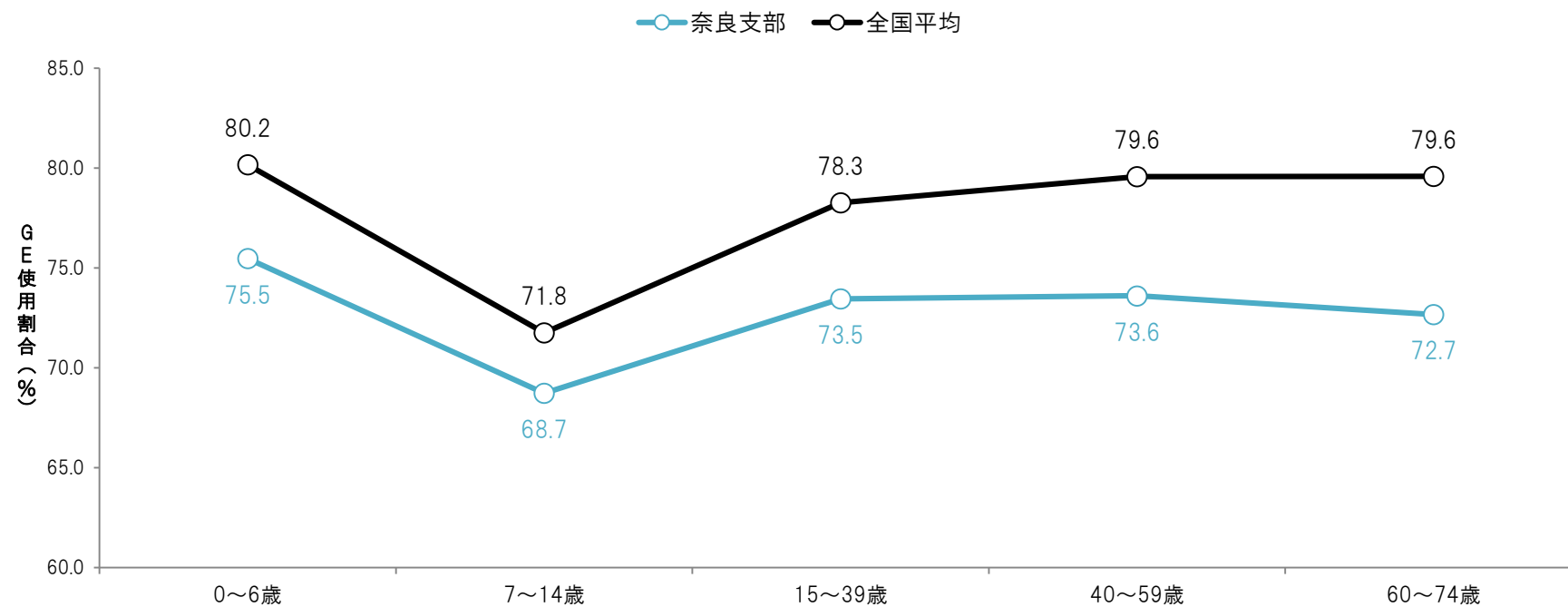
-0.40

-0.05

-0.11

-0.70

奈良支部／年代別GE使用割合



影響度

-0.18

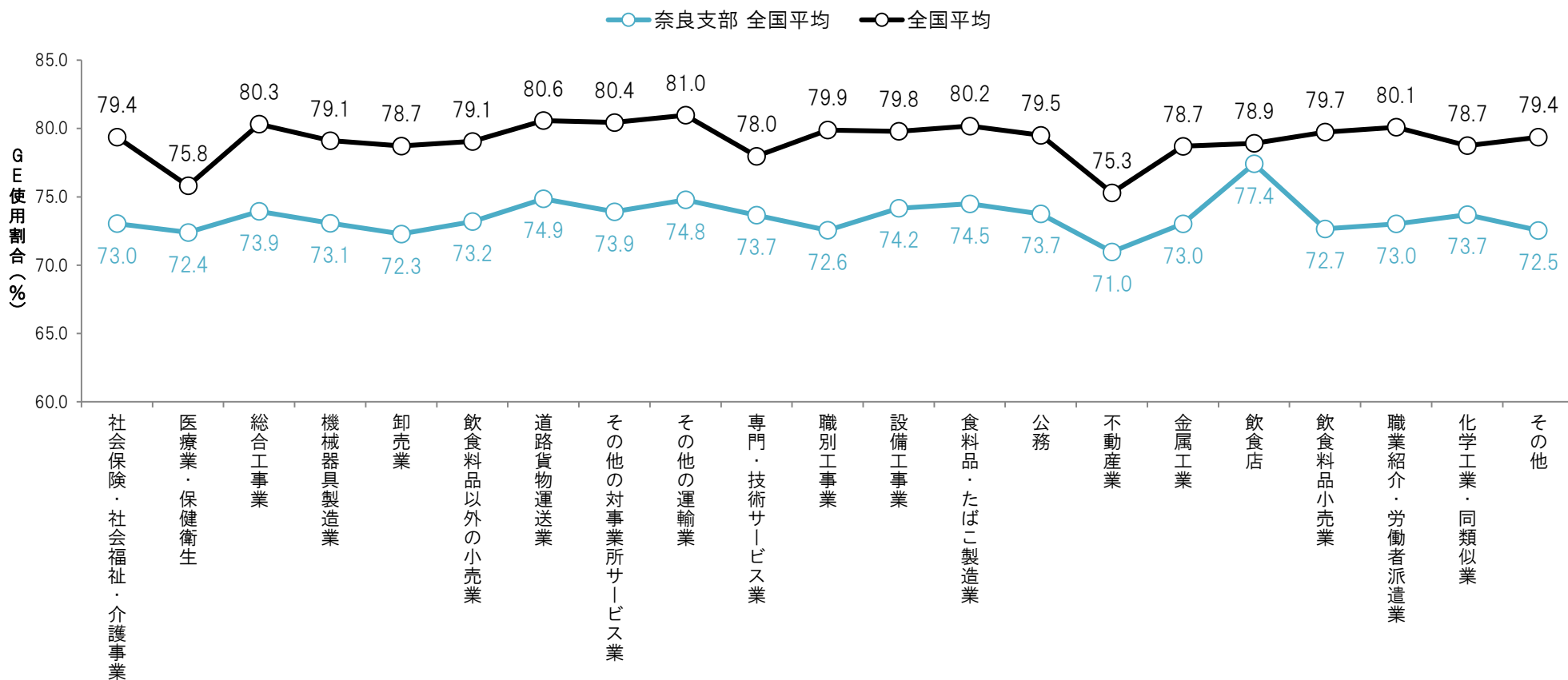
-0.09

-0.72

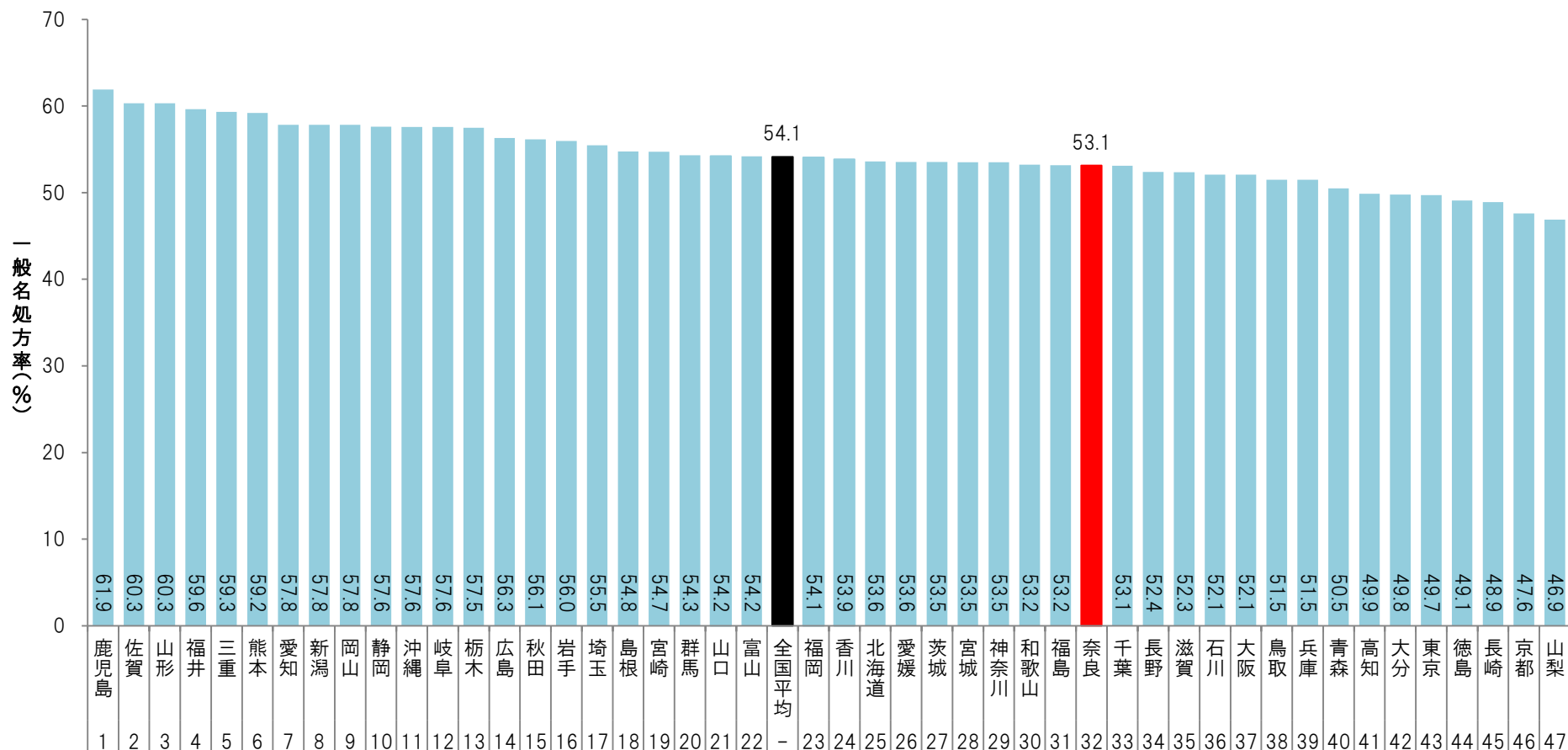
-2.35

-2.69

奈良支部／業種別GE使用割合



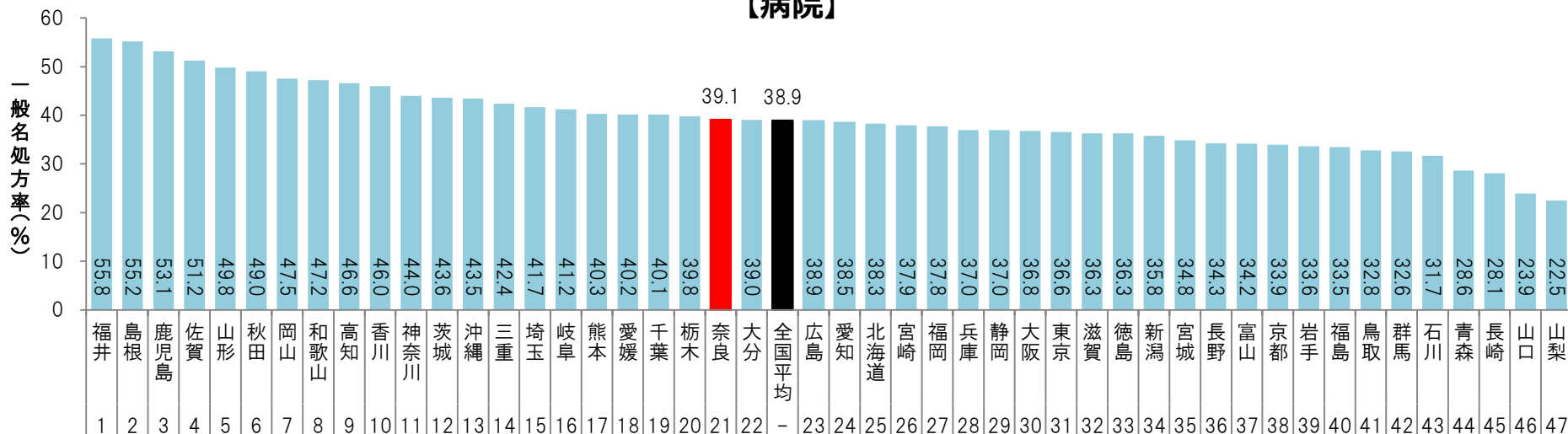
【参考】支部別一般名処方率



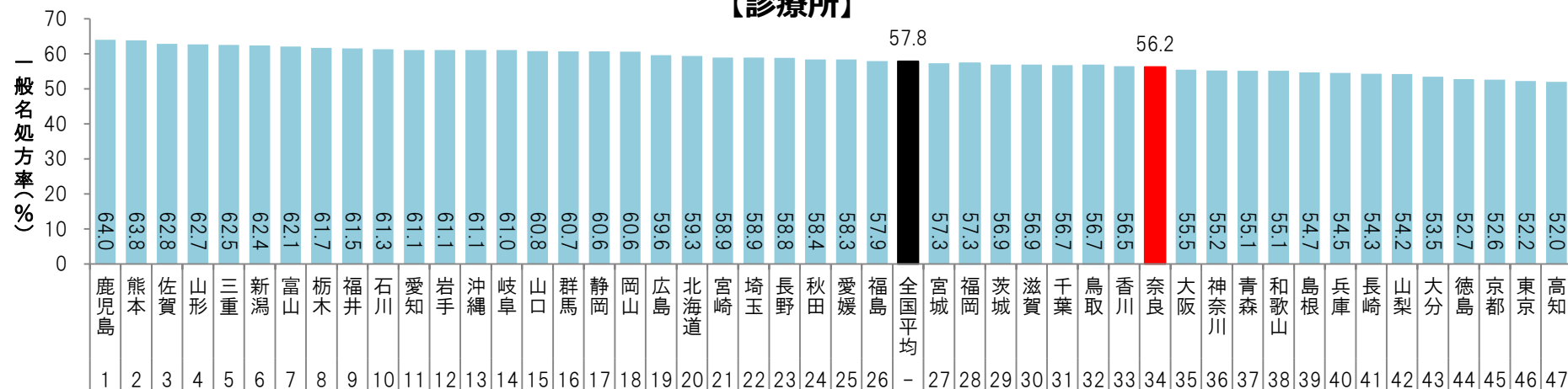
※一般名処方・・・医師が処方せんに記載する医薬品について、メーカーの商品名ではなく、その薬の中に含まれている主たる有効成分の名前（一般名）を記載して処方せんを発行すること。

【参考】支部別一般名処方率

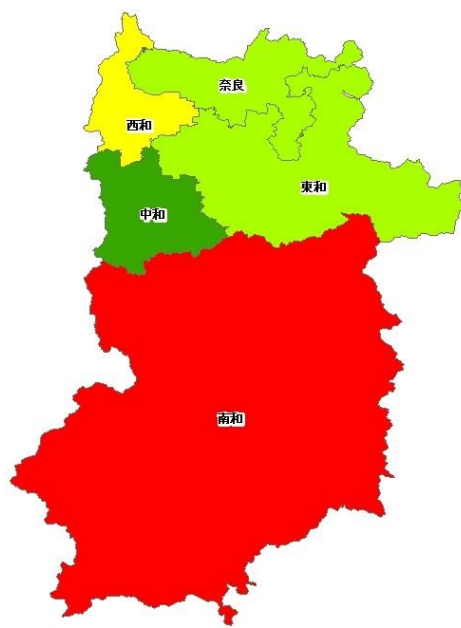
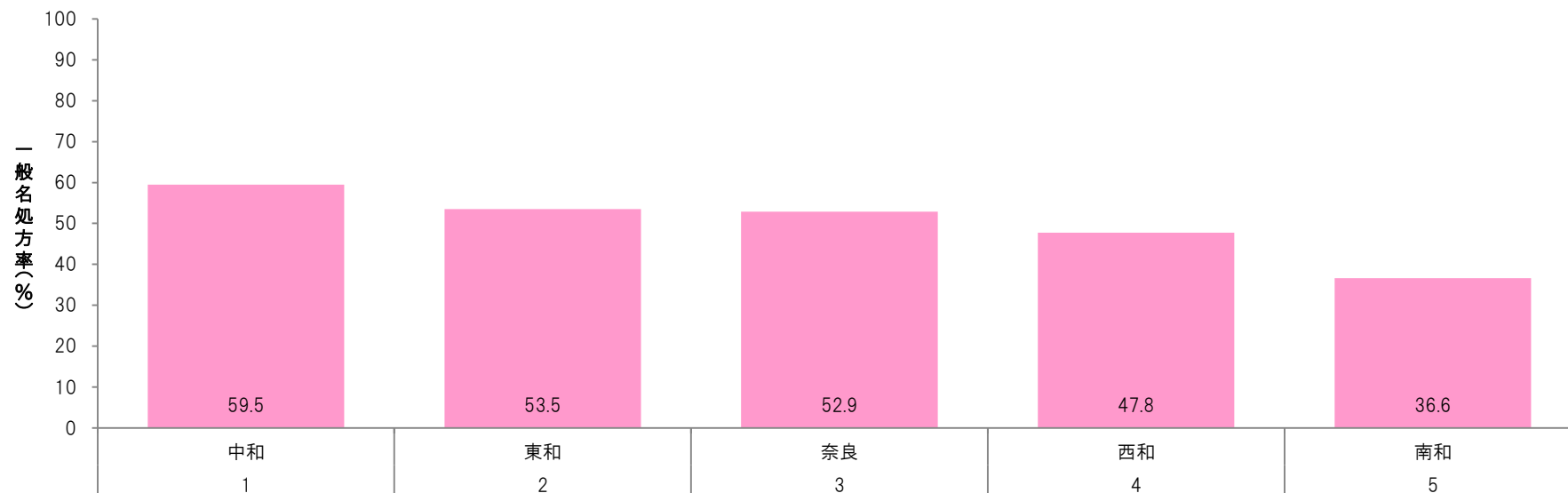
【病院】



【診療所】



【参考】奈良支部／二次医療圏別一般名処方率

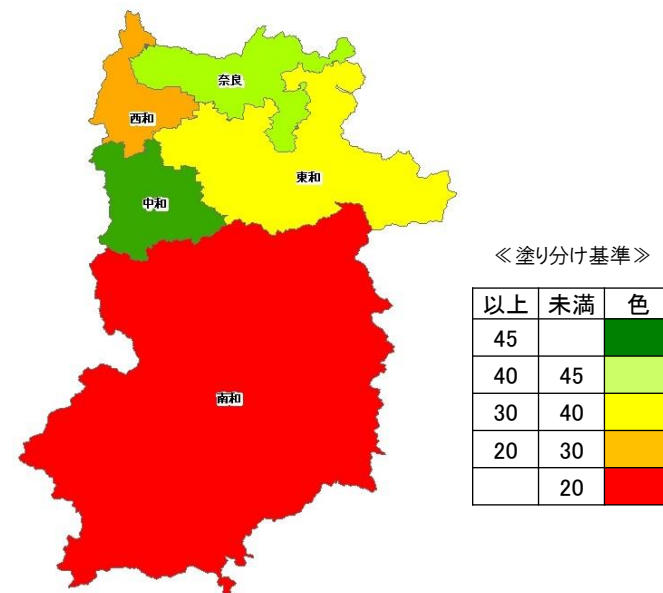
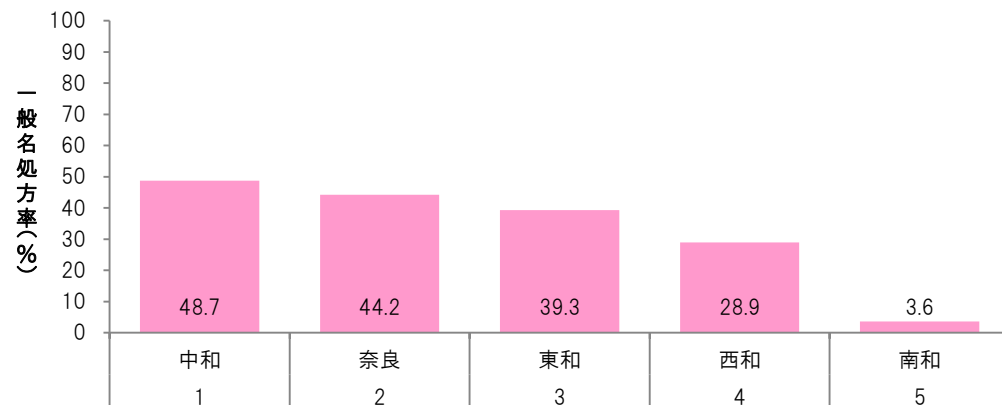


《塗り分け基準》

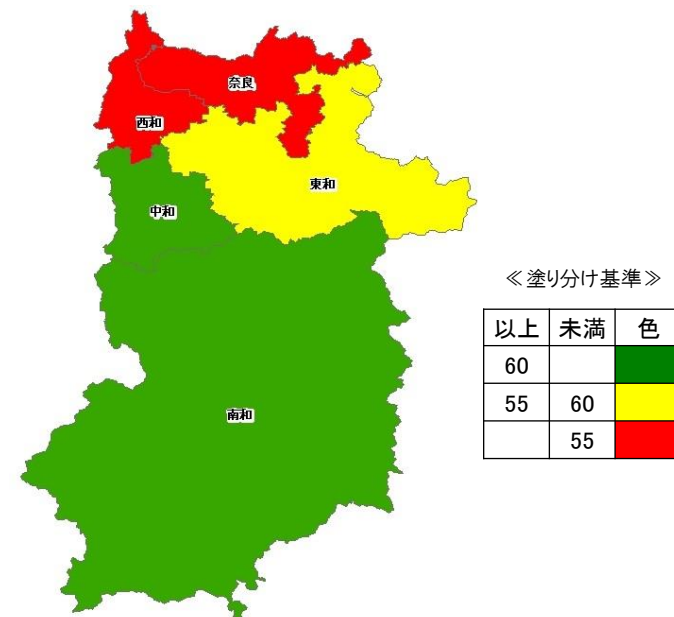
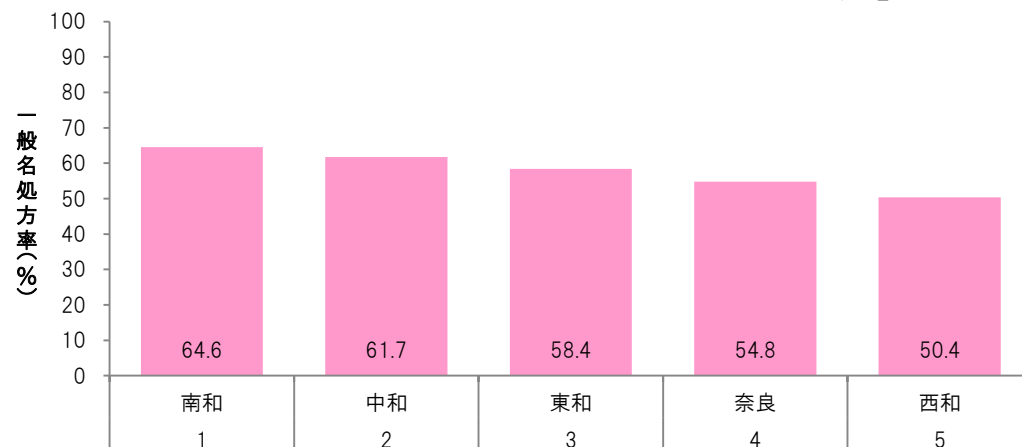
以上	未満	色
55		■
50	55	■
40	50	■
	40	■

【参考】奈良支部／二次医療圏別一般名処方率

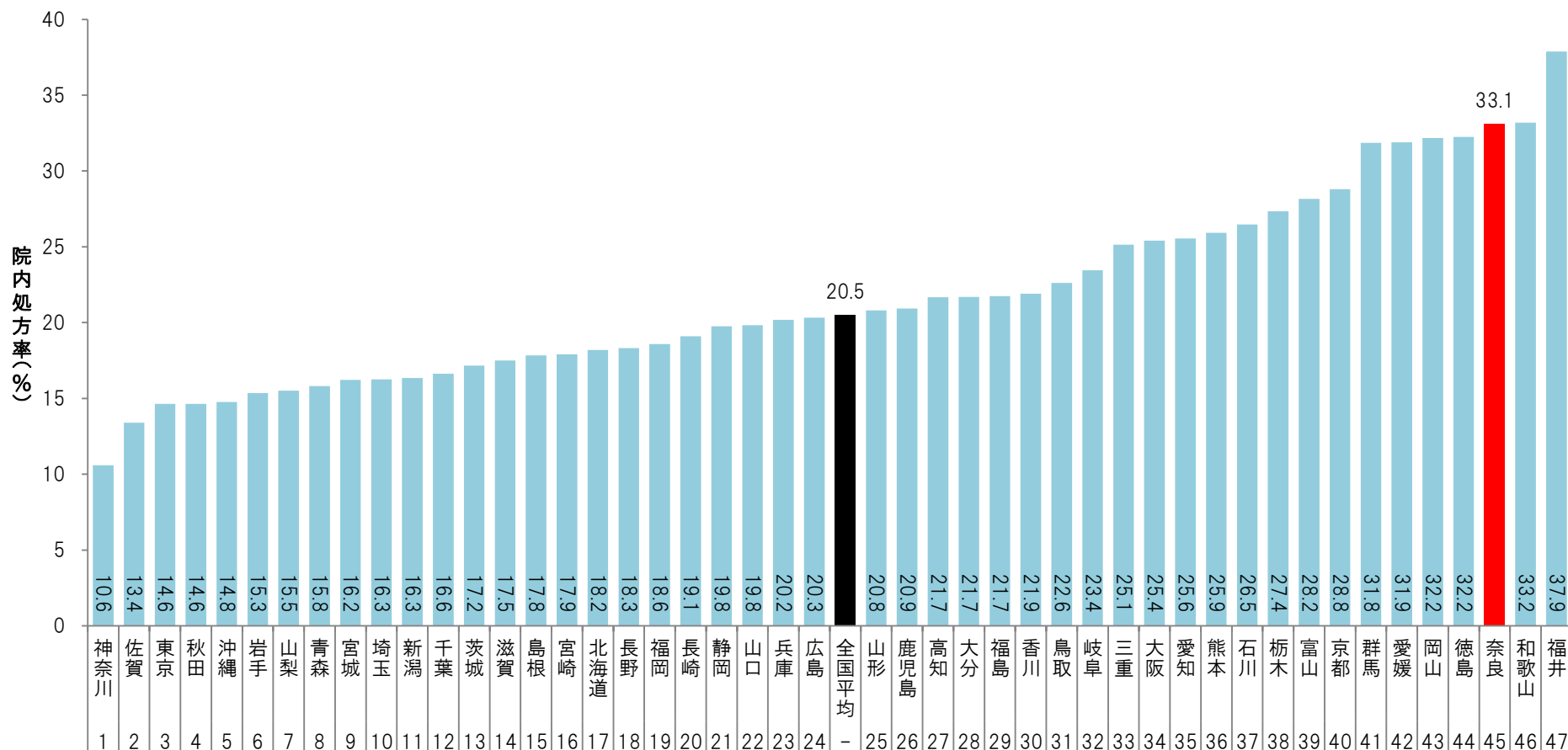
【病院】



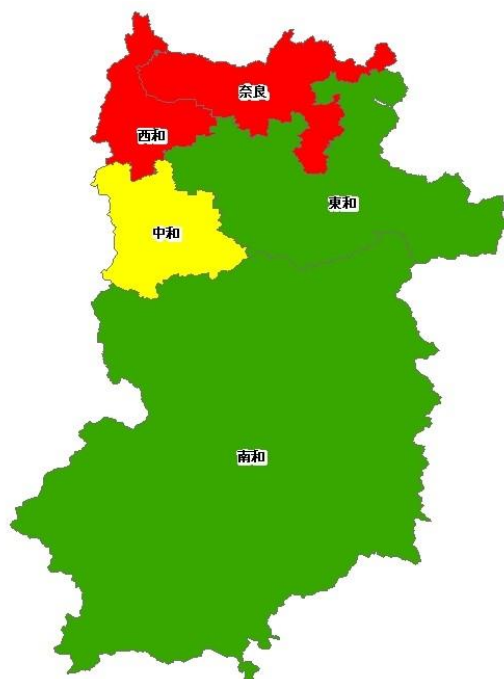
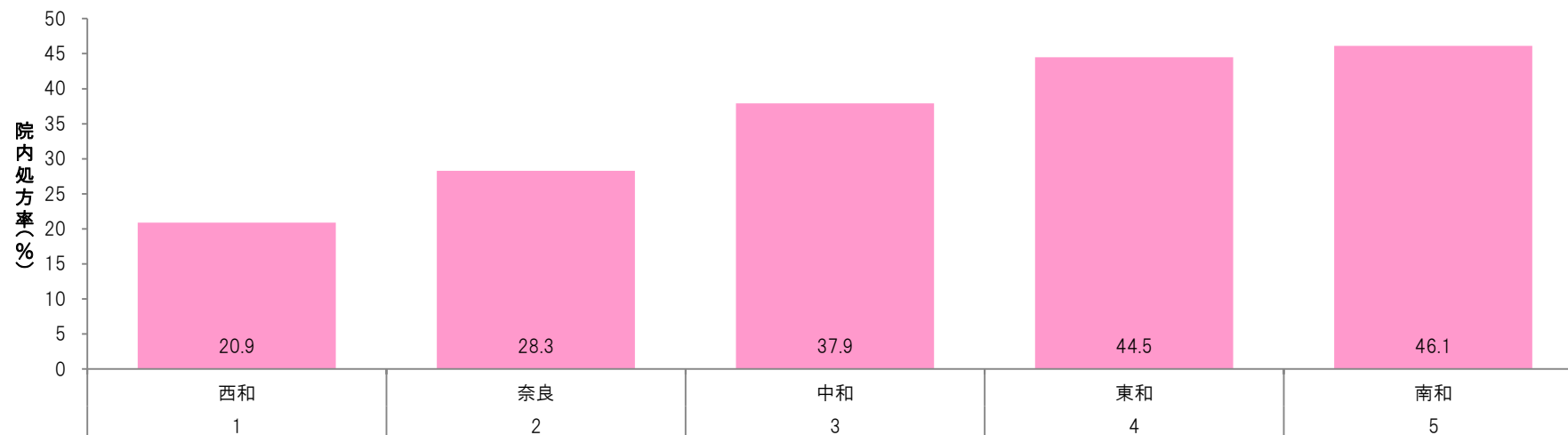
【診療所】



【参考】支部別院内処方率



【参考】奈良支部／二次医療圏別院内処方率

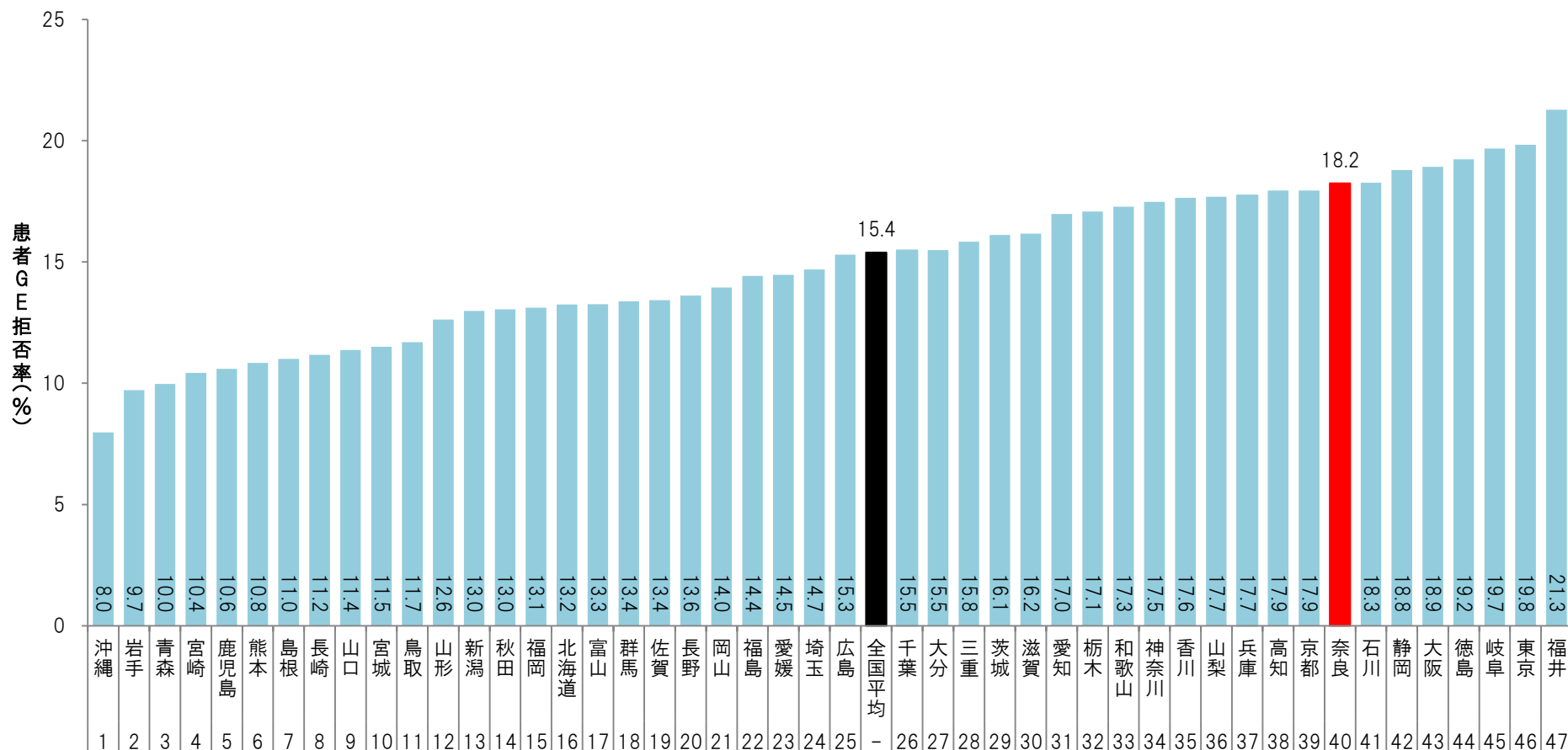


《塗り分け基準》

以上	未満	色
40		緑
30	40	黄
	30	赤

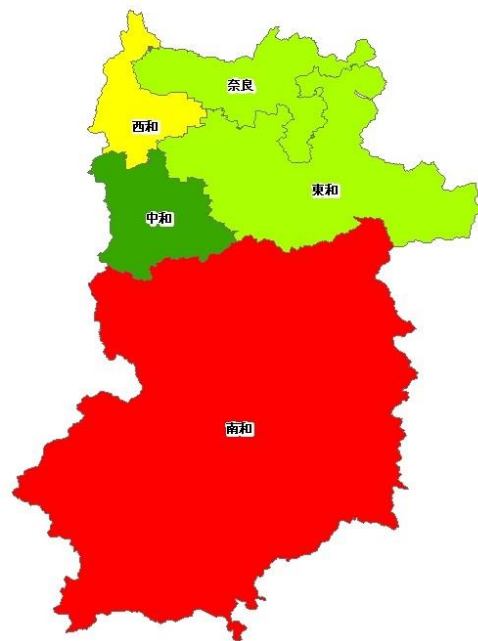
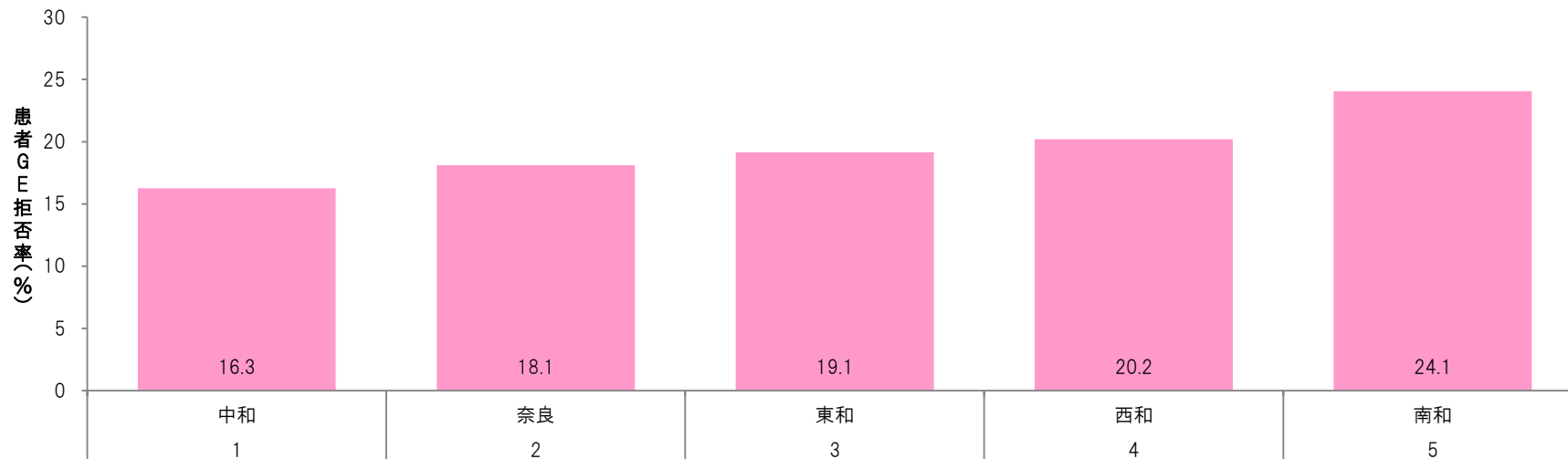
【参考】支部別患者GE拒否率

「調剤レセプトの患者の都合で後発品を調剤しなかったコメントレコードのあるレセプト数」を「一般名処方加算が存在する医科レセプト」で除して算出



【参考】奈良支部／二次医療圏別患者拒否率

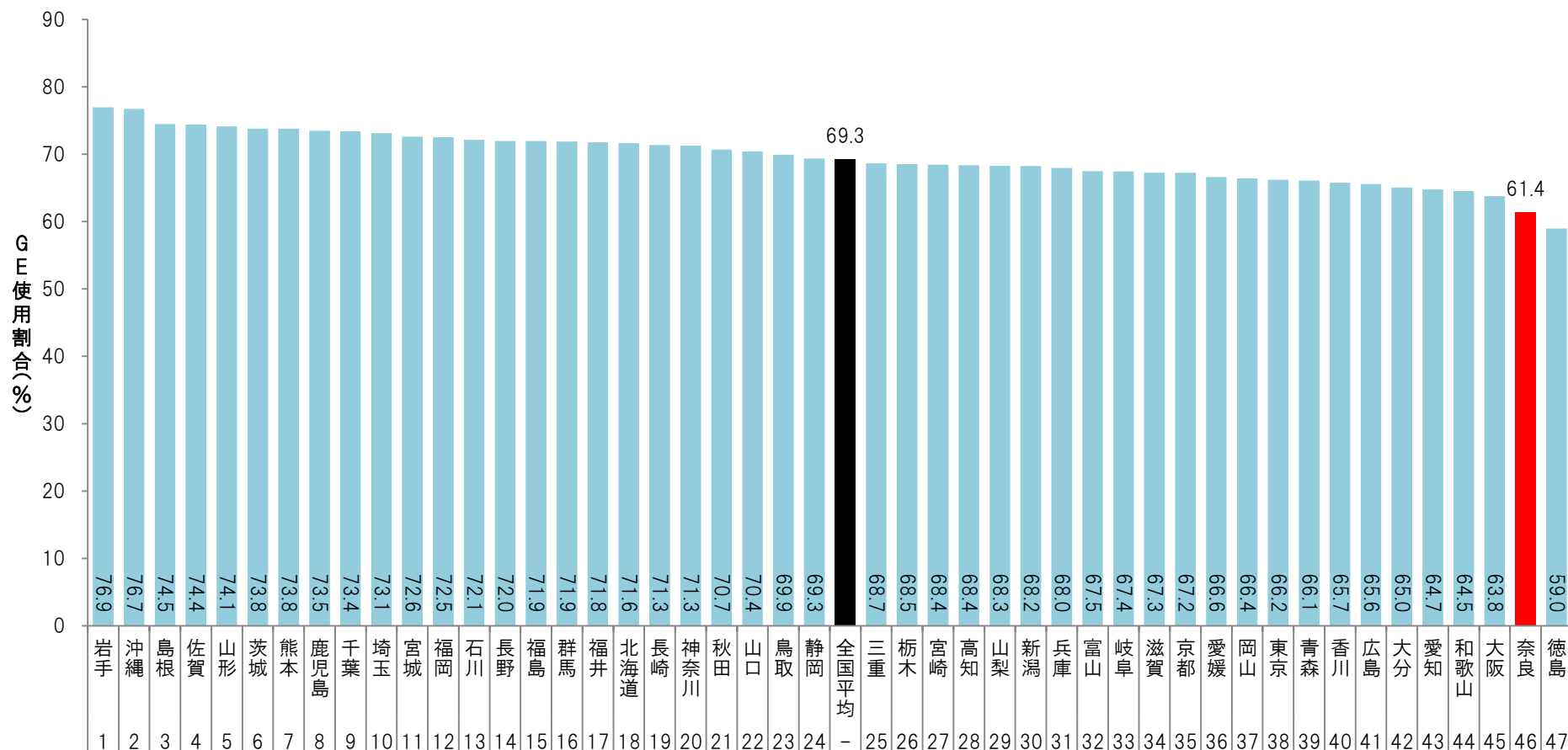
「調剤レセプトの患者の都合で後発品を調剤しなかったコメントレコードのあるレセプト数」を「一般名処方加算が存在する医科レセプト」で除して算出



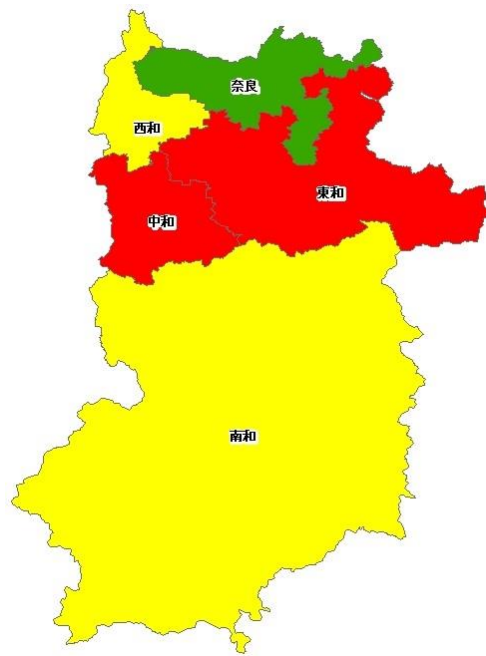
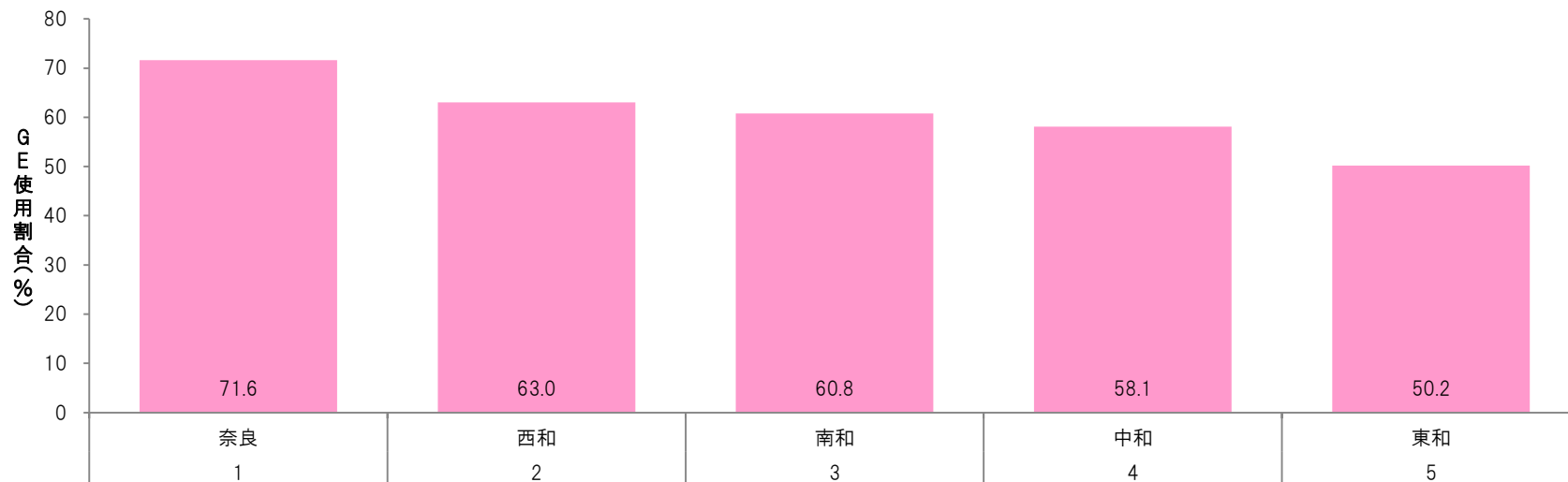
《塗り分け基準》

以上	未満	色
	18	緑
18	20	黄緑
20	22	黄
22		赤

【参考】公費対象者Ge使用割合



【参考】公費対象者Ge使用割合



《塗り分け基準》

以上	未満	色
70		緑
60	70	黄
	60	赤